

作成日 2022 年 3 月 30 日
改訂日 年 月 日

安全データシート (S D S)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : コージー ネイリスト 割れ爪補修グルー
供給者の会社名称 : 株式会社コージー本舗
住所 : 東京都台東区松が谷2-26-1
担当部門 : 商品開発本部
電話番号 : 03-3842-0226
FAX 番号 : 03-3845-1572

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
物理化学的危険性
引火性液体 : 区分4
健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 区分に該当しない
(経皮) : 区分に該当しない
(吸入) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 区分1
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 区分に該当しない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期 (急性) : 分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

: 警告
: 眼への刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
可燃性液体

注意書き
安全対策

: 高温のものから遠ざけること。一禁煙
涼しい所に置くこと。
蒸気の吸入を避けること。
取扱い後は、手を洗うこと。
屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
: 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚に付着し、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診
断、手当てを受けること。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸し易
い姿勢で休息させること。

応急措置

保管

廃棄

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
： 容器を密閉し、涼しく換気の良い冷暗所で施錠して保管すること。
： 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (%)	CAS 番号	化審法 管報公示番号
2-シアノアクリル酸エチル	>88	7085-85-0	(2)-2789
アクリル樹脂	10-12	9011-14-7	(6)-524

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

目に入った場合

飲み込んだ場合

： 新鮮な空気のある場所へ移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
： 多量の水及び石鹼で洗い流す。
： 症状が出た時は必要に応じて医師の診断を受ける。
： 清浄な水で15分間以上目を洗浄した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
： 被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
： 直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

： 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤。
： 棒状注水、火源に直接水をかけない。
： 火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを生ずる恐れがある。
： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
： 消火作業は可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。
： 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質などが河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。
： 消火作業では適切な保護具（自給式呼吸器及び保護衣）を着用する。

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

二次災害の防止策

： 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
： 必要に応じた換気を確保する。
： 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
： 少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭きとる。大量の水で洗い流す。大量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
： 付近の着火源となる物を速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。
： 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。
： 火花を発生させない安全な用具を用意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱注意事項

： 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
： 取扱い後はよく手を洗うこと。
： 取扱いは慎重に行い、作業場の換気を十分行うこと。

衛生対策	熱、火花、裸火、高温及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
保管	: 取扱い後はよく手を洗うこと。
安全な保管条件	: 直射日光を避ける。冷所、通気のよい室内で、容器を密閉し保管する。
安全な容器包装材料	: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 設定されていない。
ACGIH (TWA)	: 2-シアノアクリル酸エチル 0.2ppm
(STEL)	: 設定されていない。
設備対策	: 防爆の電気、換気照明機器を使用すること。 密閉構造の装置、機器を用い、発生源の密閉化をはかること。 局所排気装置を使用すること。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	: 防毒マスク（有機ガス用）を使用する。
手の保護具	: 有機溶剤不浸透性の保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	: 保護眼鏡、ゴーグル、防災面を使用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣、保護靴を使用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	: 液体
色	: 淡黄色透明
臭い	: 刺激臭
融点／凝固点	: -29.6℃③、-30℃⑥
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 54-56℃/0.21-0.40kPa① 150℃⑤
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 下限 1.7vol%⑥
引火点	: 75℃（密閉式）④ 83℃（タグ密閉式）③ 82.78℃⑥
自然発火点	: 485℃③
分解温度	: データなし
pH	: 非該当
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に不溶、アセトン等に易溶。
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	: データなし
蒸気圧	: <0.2kPa (25℃)① <0.27kPa (25℃)③, ⑥
密度及び／又は相対密度	: 1.0-1.1
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
粘度	: 80-120mPa. s (20℃)
10. 安定性及び反応性	
化学的安定性	: 加熱により発火、重合の可能性がある。
危険有害反応可能性	: 皮膚に付着すると瞬間的に接着する。
避けるべき条件	: 高温多湿、加熱、熱源、裸火、混触危険物質との接触。
混触危険物質	: 酸、アルカリ、過酸化剤、酸化剤、還元剤。
危険有害な分解生成物	: 燃焼により、有害なガス（一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、シアン化物など）を発生する。
11. 有害性情報	
急性毒性（経口）	: 区分に該当しない
（経皮）	: 区分に該当しない
（吸入）	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: 区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 2 B
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: 区分 1
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期 (急性)	: データなし
水生環境有害性 長期 (慢性)	: データなし
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他	: データなし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律) 及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
海上輸送 (IMDG)	: 国連の定義上危険物に該当しない。
航空輸送 (ICAO/IATA)	
国連番号	: 3334
品名	: 航空規制液体 (他に品名が明示されているものを除く)
国連分類	: 9
容器等級	: III
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、道路法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法、港則法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 容器は転倒、落下、損傷がないように積載する。
15. 適用法令	
国内法令	
化審法	: 一般化学物質
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 1、施行令第 18 条別表)

第 9)

〔2-シアノアクリル酸エチル〕政令番号 205 号

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）

〔2-シアノアクリル酸エチル〕政令番号 205 号

化学物質管理促進法

第 1 種指定化学物質

: 該当しない

消防法

: 危険物第 4 類 第 3 石油類 非水溶性液体

毒劇法

: 該当しない

火薬類取締法

: 該当しない

高圧ガス保安法

: 該当しない

船舶安全法

: 該当しない

海洋汚染防止法

有害液体物質

: 該当しない

16. その他の情報

参考文献

: 製品評価技術基盤機構 化学物質総合検索システム

安全衛生情報センターホームページ

原料 SDS、MSDS

よくわかる SDS、ラベル作成実務入門<GHS, JIS Z 7253 対応>/化学工業日報社

Q&A で解決 化学品の GHS 対応 SDS をつくる本<JIS Z 7252/7253:2019 準拠>/丸善出版

化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂 7 版/化学工業日報社

① Sax (11th, 2004)

② Howard (1997)

③ 有機化合物辞典 (1985)

④ GESTIS (2005)

⑤ DFGOT (1999)

⑥ ACGIH (2001)

このデータシートの危険有害情報は、当社の最善を尽くした物ですが、必ずしも十分ではありません。取り扱いには十分注意して下さい。また、このデータシートは危険有害情報を記載したものであり、品質を保障するものではありません。